

ISSN 2758-2965

神奈川歯学

KANAGAWA SHIGAKU



神奈川歯科大学学会雑誌 第57巻 第2号

The Journal of the Kanagawa Odontological Society

Vol.57. No.2 December 2022

目 次

原 著

- 骨膜の有無における各種補填材の抜歯窩治癒過程の検討
..... 北條彩和子, 小島康佑, 児玉利朗 (87)

ORIGINAL ARTICLE

- Factors influencing the differences between three-dimensional measurement with
cephalometric analysis and cone-beam computed tomography
..... Masataka ARIWA, So KOIZUMI, and Tetsutaro YAMAGUCHI (98)

原 著

- 同期型双方向オンライン PBL と対面型 PBL の実践と比較検討
..... 窪田光慶, 吉田彩佳, 藤田紗英子, 居作和人
浅里 仁, 栗本勇樹, 花岡孝治, 菅谷 彰 (104)

症例・臨床報告

- インプラント周囲炎を非外科治療にて対応した症例
..... 北條彩和子, 曾根崇晴, 小島康佑, 児玉利朗 (115)

講座紹介

- 神奈川歯科大学歯学部病理・組織形態学講座
..... 槻木恵一 (128)

神奈川歯学 57 巻総目次

[論文紹介]

骨膜の有無における各種補填材の抜歯窩治癒過程の検討

北 條 彩和子 他2名

神奈川歯科大学臨床科学系歯科インプラント学講座
高度先進インプラント歯周病学分野

本論文は、骨膜の有無による抜歯窩治癒過程について報告する。臨床では歯根破折や炎症性疾患により頬側骨壁の吸収が多く認められ、そのような部位では骨膜も喪失している。現在、ソケットプリザーションが多く報告されている。ソケットプリザーションとは、抜歯時に補填材料やメンブレンを使用し抜歯窩内の骨形成の促進をはかる処置である。抜歯後の歯槽堤吸収を抑制し、骨と軟組織の形態を維持することを目的としている。しかし、骨膜の有無による各種補填材の抜歯窩治癒過程については報告されていない。そこで、本論文では骨膜の有無を考慮し、より臨床に基づいた研究を行ったので報告する。

Factors influencing the differences between three-dimensional measurement with cephalometric analysis and cone-beam computed tomography

有 輪 政 尊 他2名

神奈川歯科大学大学院歯科矯正学講座

コーンビーム CT (CBCT) は3次元的なレントゲン撮影を可能にしており近年歯科矯正学分野でも多くの活用がされている。従来の歯科矯正では頭部 X 線規格写真 (セファログラム) により歯性・骨格的な状態を評価しているが3次元構造を2次元で評価しているため実際の立体構造の評価に差異が生じる可能性がある。本研究では従来のセファロ分析と CBCT による3次元分析を比較検討し測定値の差に影響を及ぼす因子の検討を行った。

同期型双方向オンラインPBLと対面型PBLの実践と比較検討

窪 田 光 慶 他7名

神奈川歯科大学総合歯学教育学講座歯学教育学分野
神奈川歯科大学総合歯学教育学講座教養教育学分野
神奈川歯科大学法医学講座歯科法医学分野
神奈川歯科大学分子生物学講座口腔生化学分野
神奈川歯科大学小児歯科学講座小児歯科分野

PBL チュートリアル (以後 PBL) は、症例や一般医科学等の中から問題を見つけ出し、その問題を手掛かりに、少人数でチューターと共に行う学修方法である。2020 年度はコロナの流行の拡大により対面で行えないため、オンライン PBL を実施した。今回オンライン PBL 実施についてと前年度の対面 PBL との比較をアンケート調査で行った。結果、オンライン PBL は、対面同様に有効な教育方略であることが示唆された。

インプラント周囲炎を非外科治療にて対応した症例

北 條 彩和子 他3名

神奈川県立歯科大学臨床科学系歯科インプラント学講座
高度先進インプラント歯周病学分野

本論文は、非外科治療にてインプラント周囲炎治療を改善した症例について報告する。インプラント周囲炎とは、インプラント周囲組織に生じる炎症性病変であり、支持骨の喪失をもたらす炎症と定義される。一般的にインプラント周囲炎の治療法には機械的清掃、殺菌的治療、抗菌治療、外科治療、レーザー治療等が挙げられる。本症例は外科的侵襲を伴わない、非外科治療にてインプラント周囲炎の改善が認められたため報告する。

編集後記

神奈川歯学, 第57巻2号は, 一般論文 4編, そして槻木恵一先生からの環境病理学分野の紹介を収録して編集作業を終了し, 会員の皆様にお届けできる運びとなりました。今号におきましても編集あるいは査読などに御協力をいただいた皆様に心より感謝申し上げます。

今夏, Clarivate Analytics 社が「Journal of Citation Reports の2023年版リリースにおいて, Web of Science Core Collection に掲載されているすべての雑誌に Journal Impact Factor (JIF) を付与する」という発表を致しました。

<https://clarivate.com/blog/clarivate-announces-changes-to-the-2023-journal-citation-reports-release/>

皆様もご存知の通り JIF は, 自然科学分野や社会科学分野の Web of Science 収録の雑誌を対象にした評価指標の一つです。対象年の前2年間に出版されたある雑誌の論文が, 対象年の雑誌に引用された回数を計算します。JIF が注目されがちではございますが, JIF 以外にも Total Citations, 5 Year Impact Factor, Immediacy Index, Cited Half-life, Eigenfactor Score, Article influence score など各種指標が提供されており, 世界中の学術雑誌を客観的に評価することができます。さて, 神奈川歯学では少しずつではありますが, 雑誌の国際化に向けての調査が始まりました。歩みはゆっくりですが, 将来的に Web of Science Core Collection に掲載されるように前進できればと考えております。

今号におきましても, コロナ禍の中, 多くの原稿を投稿していただくことができました。著者の皆様には深く感謝申し上げます。今後も数多くの論文が神奈川歯学から発信されることを祈念しております。

(神奈川歯学編集委員会 委員長, 教育企画部 猿田樹理 記)

神奈川歯科大学学会雑誌 編集委員会

委員長 猿田 樹理
編集長 青山 典生
副編集長 讃岐 拓郎

鈴木 健司 東 雅啓 星 憲幸
室町幸一郎 山口徹太郎 吉田 彩佳

神奈川歯科大学学会理事

木本 克彦 猿田 樹理 高橋 俊介 槻木 恵一
二瓶 智太郎 半田 慶介 山本 龍生

神奈川歯学 第57巻 第2号

令和4年12月30日 発行

発行者 槻木 恵一

発行所 神奈川歯科大学学会 電話 046-823-9415

横須賀市稲岡町82 神奈川歯科大学内 〒238-8580

印刷所 株式会社 福田印刷 電話 093-371-3231

福岡県北九州市門司区原町別院3-5 〒800-0037

神奈川歯学第 57 巻総目次

第 1 号 (令和 4 年 6 月 30 日発行)

総 説

令和の Cariology & Periodontology
..... 天野 敦雄 (1)

原 著

歯列模型および頭部 X 線規格写真から構築した新しい三次元デジタルモデルシステムと臨床評価
..... 小林 大, 小西弘晃, 尾崎博弥, 小林 優, 不島健持 (5)

ORIGINAL RESEARCH

Relationship between pharyngeal crossing of the nasogastric tube and the side of nasal insertion
..... Yohei TANAKA, Takatoshi IIDA, Yoshinari MORIMOTO,
Megumi HAYASHI, Lou MIKUZUKI and Yuki YAO (17)

Condylar asymmetry in patients with mandibular asymmetry assessed
by cone-beam computed tomography
..... Kenichi YUASA, Takeru OTSUKA, Yuki SUGINOCHI, Mohamed ADEL,
Yong-Il KIM, Yu HIKITA, So KOIZUMI, Reina HATANAKA,
Koutaro MAKI and Tetsutaro YAMAGUCHI (24)

原 著

臨床応用のための歯列骨格統合モデルの精度検証
..... 岩下 英夫, 濱野 奈穂, 清水 統太, 一色ゆかり, 福山 卓志
辻村 有哉, 齒部悠司郎, 大川 公子, 三宅 忠隆, 井野 智 (31)

ハイブリッド型授業と客観式試験による学力の検証
..... 栗本 勇輝, 小口 岳史, 林田 丞太, 菅谷 彰, 二瓶智太郎 (39)

症例・臨床報告

下顎右側第二小臼歯の先天性欠如を伴う上顎前突症例の矯正歯科治療例
..... 岩田 敏男, 小泉 創, 山口徹太郎 (46)

上顎右側犬歯の埋伏と含歯性嚢胞により隣在歯の歯根に湾曲が生じた長期安定症例
..... 小野 華子, 土門 明哉 (54)

Other Submissions

English Curriculum Reform for Internationalization at Kanagawa Dental University
—Toward joint development of ESP with Dokkyo Medical University—
..... Yukiko IDENO and Yoko SAKAMOTO (62)

宿題報告

エイジングに伴う循環障害が脳および口腔に与える影響
—微小循環的手法を用いた形態学的解析—
..... 東 雅啓 (67)

総 説

口腔微生物叢と歯科用アクリルレジンの開発
..... 浜田 信城, 稲葉啓太郎, 倉橋 絢子 (71)

神奈川歯科大学学会研究談話会総説 (令和 3 年 11 月 9 日開催)

デジタルデンチャーの現状と今後の展望
..... 金澤 学 (77)

講座紹介

神奈川歯科大学歯学部歯科インプラント学講座顎・口腔インプラント学分野
..... 河 奈 裕 正 (82)

神奈川歯科大学教育企画部の紹介 愛の教育を羅針盤として
..... 加 藤 浩 一 (85)

第2号（令和4年12月30日発行）

原 著

- 骨膜の有無における各種補填材の抜歯窩治癒過程の検討
..... 北條彩和子, 小島康佑, 児玉利朗 (87)

ORIGINAL ARTICLE

- Factors influencing the differences between three-dimensional measurement with cephalometric analysis and cone-beam computed tomography
..... Masataka ARIWA, So KOIZUMI, and Tetsutaro YAMAGUCHI (98)

原 著

- 同期型双方向オンラインPBLと対面型PBLの実践と比較検討
..... 窪田光慶, 吉田彩佳, 藤田紗英子, 居作和人
浅里 仁, 栗本勇樹, 花岡孝治, 菅谷 彰 (104)

症例・臨床報告

- インプラント周囲炎を非外科治療にて対応した症例
..... 北條彩和子, 曾根崇晴, 小島康佑, 児玉利朗 (115)

講座紹介

- 神奈川歯科大学歯学部病理・組織形態学講座
..... 槻木恵一 (128)

神奈川歯学 57 巻総目次